

平成27年度 公益財団法人苫小牧市体育協会事業計画（案）

（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

1.公益目的事業

公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業

本事業は、苫小牧市、苫小牧市体育協会、競技団体が事業を主催しスポーツに関する多様な事業を企画・実施することにより、地域のスポーツの普及振興を図り、広く市民にスポーツへの参加機会を提供する。

ア. スポーツ大会等開催事業（定款第4条第1号事業）

市民スポーツ祭など各種大会を実施し、中高生から一般まで幅広い年齢層を対象に体力の向上、競技力の向上を目的とした事業を開催する。

事業名等	期 間	場 所	対象範囲	参加見込	備 考
市民スポーツフェスティバル					
第13回市民フロアカーリング大会	8月	総合体育館	一般市民	50名	
第47回市民卓球大会	9月	川沿公園体育館	一般市民	150名	
第47回市民バドミントン大会	9月	総合体育館	一般市民	270名	
第34回市民ソフトテニス大会	10月	緑ヶ丘庭球場	一般(中3~)・中学2年以下	150名	
第32回とまこまいマラソン大会	10/11	陸上競技場	一般市民	2,000名	
共催事業					
第14回市民スポンジテニス交流会	未定	川沿公園体育館	一般市民	40名	
第28回市民ミニバレーボール大会	未定	総合体育館	一般市民	90名	
第38回苫小牧市民ラグビー祭	未定	緑ヶ丘公園ラグビー場	ラグビーフットボール協会	130名	
第41回苫小牧バレーボールまつり	未定	総合体育館	バレーボール協会	500名	
第42回苫小牧地区弓道選手権大会	未定	総合体育館	弓道連盟	110名	
第30回苫小牧サッカーフェスティバル	未定	緑ヶ丘公園サッカー場	サッカー協会	1,000名	
スポーツ大会開催事業					
Spring Challenge League2015	4月	緑ヶ丘球場	市内・近隣高校	180名	10校
市民登山会	7/5	未定	小学5年生以上の市民	40名	
第24回中学駅伝苫小牧大会	7/20	緑ヶ丘陸上競技場周辺	市内・近隣中学	320名	40チーム
大鷲旗争奪第53回苫小牧朝野球大会	6/1~9/10頃	緑ヶ丘球場他	一般社会人	1,000名	
合 計				6,030名	14,722,000円

イ. スポーツ教室・講習会開催事業

幼児、児童、親子、一般、女性、高齢者など対象別に各種スポーツ教室、講習会を開催しスポーツに関する学習の機会やスポーツへの動機づけ、基礎技術の習得、体力づくり、健康の維持増進の場を提供する。

事業名等	期 間	場 所	対象範囲	参加見込	備 考
スポーツ教室・講習会					
ワクワク!!水遊び教室Baby・Kidsコース	5月~7月	日新温水プール	1~2歳、3~6歳の幼児と親	510名	40組
初心者市民パークゴルフ教室	5月	緑ヶ丘公園パークゴルフ場	15歳以上の市民	20名	20名
運動会目前!!キッズかけっこ教室（東地区）	5月	市内小学校（予定）	小学1年~6年生	160名	40名
運動会目前!!キッズかけっこ教室（西地区）	5月	市内小学校（予定）	小学1年~6年生	160名	40名
テニス教室 初級・中級	5月~6月	緑ヶ丘庭球場	15歳以上の市民（学生除く）	120名	20名
基礎から学ぶはじめての弓道教室	5月~6月	総合体育館	高校生以上の市民	380名	40名
アウトドア女子体験プログラム	6月~2月	市内及び近郊	15歳以上の女性	110名	20名
アウトドアスポーツ体験教室	7月~2月	市内及び近郊	小学1年~6年生	110名	20名
市民ソフトテニス教室	9月~10月	総合体育館	15歳以上の市民	120名	20名
小学生バドミントン教室	2月~3月	総合体育館	小学1~6年	120名	20名
チャレンジスポーツクラブ	3月	総合体育館	小学1~6年	190名	30名
共催事業					
市民アーチェリー教室	6月~7月	総合体育館	中学生以上の市民	10名	
初心者スキースノーボード講習会	未定	サンライバースキー場	スキー連盟	10名	

事業名等	期 間	場 所	対象範囲	参加見込	備 考
氷上スポーツ育成事業					
スケートエンジョイスクール	10月～3月	白鳥アリーナ	幼稚園児・小学生	5,000名	
展示室整備事業	通 年	白鳥アリーナ	-	-	
広告フェンス取り付け事業	5月中旬	白鳥アリーナ	-	-	
合 計				7,020名	6,125,000円

公1-2 スポーツ普及のための指導者養成及び、競技力向上等事業

本事業は、各種スポーツ団体の指導員又は、今後指導員を目指す方を対象とし、各種スポーツ場面において適切な指導を行うことが出来るよう、スポーツ指導者の資質向上を目的とした各種指導者養成講習会や研修会等を実施する。また、競技力向上のための各種スポーツ講演会等の開催、競技団体活動助成を行う。

ア. 指導者養成等に関する事業（定款第4条第2号事業）

スポーツリーダーバンク指導者養成講習会の実施並びに、指導者登録、指導者派遣、指導者研修事業を行う。

指導者養成事業

競技団体やスポーツ団体において指導を行っている方、又はこれから指導者として活動をしたい方を対象に、スポーツに関係する専門分野の講師を招き、指導者の資質向上を目的とした指導者養成講習会を実施する。

- ・スポーツ医学、心理学、社会学、栄養学、経営学、指導論及び、実技（テーピング・普通救命など）

指導者登録事業

指導者養成講習会を終了した、各種スポーツ指導者をスポーツリーダーバンクに登録。

- ・登録指導者25年度100名、派遣可能種目22種目

指導者派遣事業

水泳やスケート等の指導を希望する幼稚園や、サークル等年齢を問わずスポーツを楽しみたい団体にスポーツリーダーバンク登録指導者より指導者を派遣する。

- ・指導者派遣事業（延べ50時間）
- ・指導実働時間1時間以内：2,500円（内訳：体育協会助成 500円 受益者負担 2,000円）
- ・指導実働時間1時間を超えて4時間以内（30分毎）：1,250円（内訳：体育協会助成 250円 受益者負担 1,000円）
- ・指導実働時間4時間を超えて8時間以内：10,000円（内訳：体育協会助成 2,000円 受益者負担 8,000円）

指導者研修事業

スポーツリーダーバンク指導者が資質向上のため、研修会に参加した場合や、新規資格取得に対して助成金の支給。

410,000円

イ. 競技力育成強化等に関する事業（定款第4条第3号事業）

競技力向上を目的に、競技者向けの講習会や研修会を開催する。また、別に定める助成金要項に基づき年に1回加盟登録団体に活動助成金の支給を行う。

加盟団体強化事業

本会に加盟する36団体に対し、別に定める助成金要綱により、活動年数、事業数等に応じ、年に1回活動助成金の支給を行い、各団体の競技力の向上や競技の普及のための一助としている。

- ・加盟団体助成事業
- ・全道・全国大会誘致助成

講演会等開催事業

各種講演会を開催し、スポーツ活動に役立つ正しい知識を広め、指導者・選手・一般愛好家の資質向上を目的とする。

- ・競技者向け講習会・研修会開催

2,534,000円

公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業

各地で開催される全国・全道大会に参加する際に遠征費の一部助成を行う。市内のスポーツ愛好者にスポーツに親しみ地域間でスポーツ交流できる機会を提供する。スポーツによる青少年の健全育成を目的とした各種事業を企画・実施しスポーツ少年団の育成を図る。苫小牧市内において特に顕著な功績のあった者を表彰する。

ア スポーツ大会参加奨励に関する事業 (定款第4条第4号事業)

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、国際・全国・全道大会に出場する中学生・高校生・大学生・一般遠征費の助成を行う。

- ・全道・全国大会参加助成事業
- ・胆振管内軽スポーツフェスタ (パークゴルフ・ゲートボール・ミニバレーボール・卓球など)

1,020,000 円

イ スポーツ少年団育成事業 (定款第4条第5号事業)

スポーツを通して、青少年の体と心を育て、スポーツによる青少年の健全育成を目的とした、各種大会、交流事業、スポーツ少年団員・指導者養成事業、活動助成事業などを実施。

大会開催事業

各種競技の大会を開催する事でスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上と青少年の健全育成を図る事業。

事業名等	期 間	場 所	対象範囲	参加見込	備 考
第40回市長旗争奪少年野球大会	5月	緑ヶ丘少年野球場他	野 球 部 会	400 名	
第46回交歓大会兼第23回高沢杯争奪大会	7月	緑ヶ丘少年野球場他	野 球 部 会	200 名	
第11回本部長フットボールフェスティバル	7月	市内小学校グラウンド	サ ッ カ - 部 会	220 名	
第42回スポーツ少年団剣道交流会	10月	総合体育館	剣 道 部 会	150 名	
教育長杯争奪第26回フットボール冬季交歓会	12月	市内小学校体育館	サ ッ カ - 部 会	220 名	
合 計				1,190 名	

少年団交流事業

苫小牧市スポーツ少年団に登録する各単位団の個人・団体が、日本スポーツ少年団をはじめ各種スポーツ競技団体の主催する全道全国大会に出場する際、遠征費の一部を助成する。

- ・胆振管内スポーツ少年団剣道交流大会
- ・北海道スピードスケート競技大会

少年団リーダー・指導者・育成者・養成事業

各種研修会、交流会にスポーツ少年団指導者及び団員を派遣し、指導者の育成、リーダーの育成を図る。

- ・北海道スポーツ少年大会
- ・北海道スポーツ少年団リーダー研修会
- ・胆振管内スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会
- ・苫小牧市スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会
- ・北海道スポーツ少年団指導者研究大会
- ・スポーツリーダー兼少年団認定員養成講習会
- ・苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会
- ・スポーツ少年団活動助成事業

2,450,000 円

ウ スポーツ功績者表彰に関する事業 (定款第4条第6号事業)

スポーツ功績者表彰事業

苫小牧市のスポーツ普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「特別賞」「功労賞」「優秀賞」「奨励賞」「感謝状」を贈呈する事業。

スポーツ少年団表彰事業

苫小牧市スポーツ少年団の普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「育成功労賞」「スポーツ奨励賞」を贈呈する事業。

589,000 円

公1-4 スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業

氷都苫小牧のスケート競技人口拡大のための普及事業や、競技力向上のための事業を開催、及び競技団体の事業を支援。指定管理者としてスケート競技の拠点施設である苫小牧市白鳥アリーナや、苫小牧市沼ノ端スケートセンターの管理運営を行う事により、施設を活用した様々な教室やイベントを開催する事が出来る。

ア 白鳥アリーナ自主事業に関する事業（定款第4条第7号事業）

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「白鳥アリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。

事業名等	期 間	場 所	対象範囲	参加人数	備 考
王子イーグルス スキルチャレンジ	7月第1週土・日	白 鳥 ア リ ー ナ	小学アイスホッケー競技者	90 名	小学1～3年生
カジュアルホッケー	7月～3月	白 鳥 ア リ ー ナ	アイスホッケー愛好者	300 名	
親子スケート教室	7月～8月	白 鳥 ア リ ー ナ	3歳から小学6年の親子	200 名	30組
初心者スケート教室（I期）	7月～8月	白 鳥 ア リ ー ナ	小学生以上の市民	120 名	30名
中学生アイスホッケースキルアップスクール	7月～8月	白 鳥 ア リ ー ナ	中 学 生	640 名	50名
大人のためのアイスホッケースクール	10月～12月	白 鳥 ア リ ー ナ	18歳以上男女初心者	240 名	30名
七夕企画「ｽﾎｯｰｯ短冊で夢を叶えよう!!」	7月～8月	白 鳥 ア リ ー ナ	一 般 市 民	-	
クリスマス企画	12月	白 鳥 ア リ ー ナ	一 般 市 民	-	
貸しスケート事業・スケート研磨事業	7月～3月	白 鳥 ア リ ー ナ	白鳥アリーナ利用者		
合 計				1,590 名	1,243,000 円

イ 沼ノ端スケートセンター自主事業に関する事業

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「沼ノ端スケートセンター」と地域との交流を深めることを目的とする。

事業名等	期 間	場 所	対象範囲	参加人数	備 考
王子イーグルス スキルチャレンジ	6月第1週の土・日	沼ノ端スケートセンター	小学生IH同好会	90 名	小学4～6年生
カジュアルホッケー	6月～3月	沼ノ端スケートセンター	アイスホッケー愛好者	900 名	
初心者スケート教室Ⅱ	8月～9月	沼ノ端スケートセンター	小学生以上の市民	120 名	30名
初心者スケート教室Ⅲ	9月～10月	沼ノ端スケートセンター	5歳から小学6年	120 名	30名
七夕企画	7月～8月	沼ノ端スケートセンター	一 般 市 民	-	
クリスマス企画	12月	沼ノ端スケートセンター	一 般 市 民	-	
貸しスケート事業・スケート研磨事業	6月～3月	沼ノ端スケートセンター	沼ノ端スケートセンター利用者	-	
合 計				1,230 名	533,000 円

ウ 施設の貸出しに関する事業

苫小牧市白鳥アリーナ、苫小牧市沼ノ端スケートセンターの設置目的を踏まえ、各種競技大会、専用利用、研修会、レクリエーション、個人のトレーニング利用などに、アリーナ、会議室、トレーニング室の貸し出しを行う。施設の維持管理にあたっては「体育施設管理士」「体育施設運営士」の両資格を有する「上級体育施設管理士」が8名おり、利用者の安全な施設利用のため万全を期している。貸出方法は、苫小牧市白鳥アリーナ条例及び規則、苫小牧市スポーツセンター条例及び規則、運用内規などに基づき利用の受付、貸出、利用料金の徴収を行う。また、利用状況、利用の方法などについてはホームページで公表している。

白鳥アリーナ管理運営事業（指定管理期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 5年間）

区 分	期 間	利用人数	備 考
一般滑走	7月1日 ～ 3月31日	3,900 人	
トレーニング	4月1日 ～ 3月31日	7,200 人	
リンク専用貸切	7月1日 ～ 3月31日	97,000 人	
会議室専用貸切	4月1日 ～ 3月31日	5,900 人	
その他（自主事業等）	4月1日 ～ 3月31日	9,400 人	
合 計		123,400 人	147,703,000 円

沼ノ端スケートセンター管理運営事業（指定管理期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 5年間）

区 分	期 間	利用人数	備 考
一般滑走	6月1日～3月31日	8,000 人	
リンク専用貸切	7月1日～3月31日	59,300 人	
その他（自主事業等）	4月1日～3月31日	2,200 人	
合 計		69,500 人	64,885,000 円

2. 収益事業

物品販売等事業

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業で、白鳥アリーナで開催されるアジアリーグのチケット販売、グッズの販売、大会写真販売など利用者サービスの一環として収益を得ることを目的とした事業を行う。

ア 物販等事業（定款第4条第8号事業）

<主な実施予定事業>

- ・アジアリーグアイスホッケー前売りチケット売り捌き
- ・アイスホッケー大会等におけるスナップ写真販売
- ・王子イーグルスのグッズなどを販売

収益	660,000 円
----	-----------

イ その他事業

3. その他の事業（相互扶助等事業）

ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点施設受託事業

- （1） N T C 使用に関する日本アイスホッケー連盟、N T C 中核拠点、近隣宿泊施設、医療機関等関連施設との連絡調整
- （2） 優先的専有利用のための施設利用計画に関する日本アイスホッケー連盟及び地元競技団体との打合せ
- （3） トレーニング機能充実のための日本アイスホッケー連盟、地元競技団体、近隣宿泊施設等との打合せ
- （4） 医・科学サポート機能充実のための日本アイスホッケー連盟、地元競技団体、近隣医療機関研究機関との打合せ
- （5） 情報ネットワーク機能構築のための日本アイスホッケー連盟、地元競技団体、N T C 中核拠点連携施設との打合せ

11,603,000 円

平成27年度 公益財団法人苫小牧市体育協会収支予算書（案）
 （平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
I 収入の部				
基本財産運用益	450,000	450,000	0	
基本財産運用収入	450,000	450,000	0	基本財産運用（定期預金利息）
事業収入	19,257,000	20,325,000	△ 1,068,000	
ア スポーツ大会開催事業収入	12,355,000	12,966,000	△ 611,000	マラソン大会参加者数実績による減 （参加者実績 H25 2,486人→ H26 2,128人）
イ スポーツリーダーバンク収入	80,000	200,000	△ 120,000	派遣事業受益者負担金の減 （派遣依頼時間 実績による見直し 100H → 40H）
ウ 氷上スポーツ育成事業収入	2,830,000	2,830,000	0	
エ 自主事業収入	3,992,000	4,329,000	△ 337,000	カジュアルホッケー利用日の減 （白鳥アリーナ 30日→22日） （沼ノ端スケートセンター 60日→35日）
利用料金収入	44,999,000	44,490,000	509,000	
ア 白鳥アリーナ利用料金収入	26,450,000	25,941,000	509,000	リンク専用貸切利用増
イ 沼ノ端スケートセンター利用料金収入	18,549,000	18,549,000	0	
受託事業収入	179,690,000	166,748,000	12,942,000	
ア 受託事業収入	179,690,000	166,748,000	12,942,000	
白鳥アリーナ指定管理費	121,849,000	115,487,000	6,362,000	電気料金値上げによる増
沼ノ端スケートセンター指定管理費	46,238,000	41,543,000	4,695,000	電気料金値上げによる増
ナショナルトレーニングセンター受託事業費	11,603,000	9,718,000	1,885,000	電気料金値上げによる増（4月～6月冷凍機電気使用分）
補助金収入	33,349,000	33,118,000	231,000	
ア 苫小牧市	30,649,000	30,418,000	231,000	
体育協会補助	28,759,000	28,528,000	231,000	
運営費補助	22,641,000	22,410,000	231,000	苫小牧市補助金（人件費の増）
事業費補助	3,677,000	3,677,000	0	
加盟団体補助	1,400,000	1,400,000	0	
スポーツ少年団補助	1,041,000	1,041,000	0	
氷上スポーツ育成事業補助	1,890,000	1,890,000	0	
スケートエンジョイスクール事業	1,241,000	1,241,000	0	
展示室整備事業	31,000	31,000	0	
広告フェンス取付事業	618,000	618,000	0	
イ 北海道	2,700,000	2,700,000	0	北海道補助金（高齢者雇用 特定求職者雇用開発助成金）
寄附金収入	1,483,000	1,483,000	0	
ア 寄附金収入	1,483,000	1,483,000	0	スポーツ事業資金造成協賛会他寄附金
登録料収入	1,469,000	1,748,000	△ 279,000	
ア スポーツ少年団登録料	1,469,000	1,748,000	△ 279,000	少年団登録者数の減 団員 1,600人 → 1,300人 役員 360人 → 300人
加盟団体負担金収入	506,000	506,000	0	
ア 加盟団体負担金収入	506,000	506,000	0	加盟団体負担金（36団体）
雑収入	730,000	730,000	0	
ア 受取利息収入	70,000	70,000	0	普通預金利息
イ チケット販売・グッズ販売収入	660,000	660,000	0	チケット売捌き手数料・王子グッズ販売収入
基本財産収入	0	0	0	
ア 基本財産収入	0	0	0	
記念事業積立準備金繰入収入	0	0	0	
ア 記念事業積立準備金	0	0	0	
特定預金取崩収入	591,000	439,000	152,000	
ア 特定預金取崩収入	591,000	439,000	152,000	退職金支払い（嘱託技術員3人）に 退職金会計からの繰入増 H26 2人 → H27 3人
当期収入合計（A）	282,524,000	270,037,000	12,487,000	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計（B）	282,524,000	270,037,000	12,487,000	

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
Ⅱ 支出の部				
1. 公益目的事業	242,214,000	232,276,000	9,938,000	
公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業				
	20,847,000	21,479,000	△ 632,000	
ア スポーツ大会開催事業	14,722,000	15,101,000	△ 379,000	マラソン大会に係る経費減 (記録集計システム見積合わせによる減)
イ スポーツ教室・講習会開催事業	6,125,000	6,378,000	△ 253,000	各種スポーツ教室経費減 (水遊び教室回数減 20回→10回) (ボウリング教室 共催事業へ変更による減)
公1-2 スポーツ普及のための指導者養成及び、競技力向上等事業				
	2,944,000	3,150,000	△ 206,000	
ア 指導者養成等に関する事業	410,000	616,000	△ 206,000	指導者派遣報償費減 (派遣時間 実績による見直し 100H → 40H)
イ 競技力育成強化等に関する事業	2,534,000	2,534,000	0	
公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業				
	4,059,000	4,166,000	△ 107,000	
ア スポーツ大会参加奨励に関する事業	1,020,000	867,000	153,000	全道・全国大会参加助成金の増(直近3か年の実績平均)
イ スポーツ少年団育成事業	2,450,000	2,744,000	△ 294,000	少年団登録者数の減に伴う日本・北海道 スポーツ少年団登録料の減
ウ スポーツ功績者表彰に関する事業	589,000	555,000	34,000	表彰物品内容見直しによる増
公1-4 スポーツ(スケート競技)振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業				
	214,364,000	203,481,000	10,883,000	
ア 白鳥アリーナ自主事業に関する事業	1,243,000	1,128,000	115,000	中学生スキルアップスクール沼ノ端から移動による増
イ 沼ノ端スケートセンター自主事業に関する事業	533,000	822,000	△ 289,000	中学生スキルアップスクール白鳥へ移動による減 フィギュア教室中止による減
ウ 施設の貸出に関する事業	212,588,000	201,531,000	11,057,000	
白鳥アリーナ管理運営事業	147,703,000	141,341,000	6,362,000	電気料金値上げによる増
沼ノ端スケートセンター管理運営事業	64,885,000	60,190,000	4,695,000	電気料金値上げによる増
2. 収益事業	80,000	80,000	0	
物販等事業	80,000	80,000	0	
3. その他の事業(相互扶助等事業)	11,603,000	9,718,000	1,885,000	
ナショナルトレーニングセンター(NTC)競技別強化拠点施設受託事業	11,603,000	9,718,000	1,885,000	電気料金値上げによる増(4月～6月冷凍機電気使用分)
4. 管理費	26,910,000	26,420,000	490,000	
ア 管理費	26,910,000	26,420,000	490,000	
人件費	22,362,000	22,153,000	209,000	人件費の増(給料・共済費)
物件費	4,548,000	4,267,000	281,000	車両1台新規リースによる増
5. 固定資産取得支出	0	0	0	
ア 固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
6. 特定預金支出	826,000	804,000	22,000	
ア 特定預金支出	826,000	804,000	22,000	
特定預金支出	826,000	804,000	22,000	退職金会計へ繰出(管理費職員4人分)
7. 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
ア 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	記念事業会計へ繰出(将来に向けた積立金70周年予定)
8. 退職金支出	591,000	439,000	152,000	
ア 退職金支出	591,000	439,000	152,000	
退職金支出	591,000	439,000	152,000	退職金支出の増(嘱託技術員退職者3人) H26 2人 → H27 3人
当期支出合計 (C)	282,524,000	270,037,000	12,487,000	
当期収支差額 (A)-(C)	0	0	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	